

2022年1月12日

カゴメ株式会社

特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

“ニッポンの野菜不足をゼロにする”を目指し、子どもの野菜嫌い克服にチャレンジ
カゴメと放課後NPOアフタースクールの共同食育プログラム(後援：文科省)

『おいしい！野菜チャレンジ2022』今年も全国で80回開催

全国の子どもたち同士が野菜を通じて交流を深める新企画も始動！

カゴメ株式会社（代表取締役社長：山口 聡、本社：愛知県名古屋市長古市、以下カゴメ）と特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール（代表理事：平岩 国泰、所在地：東京都文京区、以下NPOアフタースクール）は、子どもの給食の残食率を減らし、バランスよく栄養を摂取し、将来に向けての体づくりの大事な小学生の時期に野菜嫌い克服を目指す連携子育てプロジェクト『おいしい！野菜チャレンジ2022』を今年も全国で80回開催いたします。2022年度は文部科学省の後援を得て、全国の異なる地域にいる子どもたちがオンラインでつながり、野菜を通じて交流を深める新たな「多拠点オンライン型」のプログラムを新たに行うなど、ますます強化して実施します。

＜実施概要及び応募方法＞ ※やむを得ず変更になることがあります。

- ・実施エリア：全国小学校授業時間 及び 放課後活動学童クラブ等90カ所
- ・定員：約40名（最大）/1回
- ・実施時間：オンライン型（多拠点 / 単独）：45～75分
訪問対面型 90分
（オンライン型ではサポート付き機材一式無償貸し出し）
- ・募集期間：第1次募集（7月～実施）：2022年1月12日(水)～3月4日(金)
第2次募集（9月～実施）：2022年4月11日(月)～5月27日(金)
- ・応募方法：おいしい！野菜チャレンジHPより応募可能です。

<http://www.npoafterschool.org/yasai-challenge>

野菜、大好き!!
おいしい!
野菜チャレンジ



■「おいしい！野菜チャレンジ」について

「おいしい！野菜チャレンジ」は、カゴメと放課後NPOアフタースクールが共同で、保護者・学校の共通の「困りごと」であり、野菜不足要因の1つである「食経験による野菜嫌い」の克服を目指して開発した食育プログラムです。2018年4月にスタートし、これまでに約6,000名の小学生がプログラムに参加し、2019年には「キッズデザイン賞」を受賞しました。

2017年のカゴメの調査により、幼少の頃の野菜への好意度が将来的な野菜の摂取量に影響があることが分かっています。野菜に関するポジティブな経験が子どもの野菜に関する好意度に影響を与えると考え、両社の野菜に関する知見や教育現場のノウハウを掛け合わせ、子どもたちの野菜の摂取意欲の向上や教育現場での残食などの問題解決に貢献し、“ニッポンの野菜不足をゼロにする”を目指しています。

▼プログラムの様子（左：単独オンライン型、右：訪問対面型）



■2022年度「おいしい！野菜チャレンジ」プログラム実施概要

<プログラム内容>

野菜をおいしいと思う食体験や野菜を知ることには楽しいと思える体験を通して、野菜好きのきっかけをつくる「さわる」「みる」「かく」「知る」「味わう」を立体的に体験します。

参加申し込み時に以下の3つの中からご希望のプログラムをお選びいただけます。

【多拠点オンライン型】：日本全国野菜すごろくの旅編

日本全国を舞台にした「野菜すごろく」の中で、野菜のクイズや体験活動ができるオンラインプログラムです。全国の放課後活動をオンラインでつなぐ新たな取り組みです。遠隔地に住む子ども同士が野菜を通じて交流を深め、自分や相手の住む地域の野菜や料理を知ることにより野菜に興味を持つことを目指しています。

【単独オンライン型】：野菜の不思議実験編

野菜トレジャーハンターとなってクイズや実験に挑戦するオンラインプログラム。ナゾを解いて宝箱を開けるドキドキ感で夢中になって、自然に野菜と仲良くなるプログラムです。

【訪問対面型】：最強のジュースレシピ編

クイズで野菜の旬や栄養について学び、みんなで野菜を使ったオリジナルのジュースをつくって味わうプログラムです。（一部状況により変更する場合があります。）

■2021年度参加者アンケート結果：2021年度4月～10月実施分

●子どもたちの声

Q.プログラムは楽しかったですか？ Q.野菜をもっと食べようと思いましたか？



- ・今までこんな授業をうけたことがないくらい楽しかった。（2年生）
- ・野菜の話を聞いて、なんだか野菜をむだにしたいと感じた。（3年生）
- ・家のおじいちゃんも野菜をそだてているので、野菜の料理などもしてみたいと思った。（4年生）

●実施小学校教員・学童スタッフの声

Q. 今回のプログラムを他の学校や教育機関に
おすすめしたいと思いますか？



・プログラム後は、「この野菜の名前は何か？」「食べてみたらおいしかった！」などと嬉しい声を多く聞くようになりました。小学生の頃から野菜を食べる理由を正しく理解し、苦手を克服することは野菜不足が危惧されている今、とても大切なことだと改めて実感しました

（東京都 小学校 栄養士 A先生）

・「今から何が始まるんだろう…」最初からワクワクの子どもたち。プログラムを楽しむうちに、今までまったく野菜がダメだった児童がジュースを口にしてくれました！プログラムを通じ、新しいことにチャレンジすることが楽しいと感じられる第一歩になったのではないかと思います。

（静岡県 放課後児童クラブ ご担当者）

■放課後NPOアフタースクールとは

「放課後をゴールデンタイムに！」をスローガンに小学校の放課後改革に挑戦し、子どもたちのためのより豊かな放課後の実現に向けたチャレンジを続けています。

「教育」と「新しい社会」をデザインする放課後NPOアフタースクール のソーシャルデザインチーム

詳細はこちら URL：<https://npoafterschool.org/social-design/>

<報道機関向けのお問い合わせ先>

カゴメ株式会社 経営企画本部 経営企画室 広報グループ 北川、榎木
TEL：03-5623-8503

特定非営利法人放課後NPOアフタースクール 長坂(080-3154-2444)、鈴木(050-1751-5521)
MAIL: yasai@npoafterschool.org